

2016 年合格目標

国家総合職速修本科生ガイダンス

担当 T A C 国家総合職講座担任 山下

本日の予定

- 1 平成 27 年本試験の分析
- 2 分析を踏まえての 28 年本試験合格のための基本戦略
- 3 官庁訪問について
- 4 本講座の特徴

※国家総合職の仕事内容・国家総合職の試験内容については、T A C ホームページのトップ画面右にある「T A C 動画チャンネル」⇒「W セミナー開講講座：公務員(国家総合職・外専)にてご覧ください。

1 平成 27 年本試験の分析

①1 次試験に合格するための基本戦略

平成 27 年本試験 1 次試験合格に必要な点数(太字が平均点・網掛けは基礎能力試験 50%)
法律区分(基礎能力試験・専門試験ともに 40 点満点)

基礎	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	32
専門	37	36	35	34	34	33	32	31	30	29	29	27	26	22

経済区分(基礎能力試験・専門試験ともに 40 点満点)

基礎	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
専門	27	26	25	25	24	23	22	21	20	20	19	18	17

院卒区分(基礎能力試験は 30 点満点・専門試験は 40 点満点)

基礎	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
専門	33	32	31	29	28	27	26	25	24	23	22

基礎能力で最低 50~60%確保・専門で最低 70%確保を目安に

②最終合格するための基本戦略

⇒1次で最低点合格した場合の2次の目安は…

人物Cランク・政策論文6(平均点:院卒は政策課題討議C)だとすると



専門記述(60点満点)で

区分	法律	経済	院卒
専門記述最低点	22(平均 31.2)	22(平均 31.1)	33(平均 34.9)



専門記述で平均点ちょい下確保を目安に

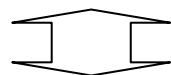
2 分析を踏まえての28年本試験合格のための基本戦略

①基礎能力試験は最低 50～60%を確保する



No.1～No.27の一般知能(院卒の場合はNo.1～No.24)で20点(院卒15

点)を取れるならば、知識分野は素の力で受験もあり



そこに足りない分だけ知識分野を勉強する

②専門択一は最低 70%を確保する



記述で使う科目を中心に得点源にして、選択科目はそこに足りないも

のだけを勉強する

③専門記述は 50%確保を目安に



択一の勉強でベースを作り、**年明け(遅くとも来年 2 月)からは記述対策も十分に行う**

④スケジュールリング(ざっくりとスケジュールリングすると…)

	年内～平成 28 年 1 月まで	平成 28 年 2 月以降
択一	数的・専門(必須) の受講⇒問題演習 文章理解 の問題演習	それまでに仕上げた科目のメンテナンス(問題演習)+必要な部分の科目(サブ科目)の受講⇒問題演習
記述	政策論文 の基礎的能力養成	専門記述 講義・答練 政策論文 講義・答練

3 官庁訪問について

開始…最終合格発表(平成 27 年は 7 月 31 日)の後、8 月 5 日午前 8 時 30 分から

期間…開始日から 1 週間(同一省庁に訪問日の翌日・翌々日は訪問不可)

次の 2 日間 (同一省庁に 2 日連続して訪問不可)

月 日	8/5	8/6	8/7	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/17	8/18
	第 1 クール			第 2 クール			第 3		第 4	第 5
A	○	×	×	○	×	×	○	×	○	○
B	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×
C	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×

※A・B・Cはそれぞれある官庁を指す



※8月18日に「内々定」が出る・・・事実上の内々定はそれ以前に暗示されてはいる

※何をするか…原課(政策を作っているところ)・人事を含め様々な人と面接(面談に近いものもある)して、その省庁のカラーにあっているかどうかを判断される

※この官庁訪問をクリアしないと、就職できない⇒官庁訪問の倍率 2.5 倍程度

4 本講座の特徴

- ①**効率的コンパクトコース**…基本戦略で示した重要科目＝点を取らなければならない科目を受講できるコース設定(p. 1・2)
- ②**Web フォロー標準装備**…学習の進捗に応じて、自分なりの合格スケジュールを組める(p. 1)
- ③**2次記述対策もバッチリ**…本科生ならば**答案添削は無制限**(p. 1・2)
- ④**2次人物試験対策・官庁訪問対策**…最終合格・内々定までしっかりフォロー(p. 4)
- ⑤**追加申込講座が半額**…基本戦略で示した「足りない部分」だけをオプション追加可能(p. 6)

※担任講師によるHRや個別カウンセリング…情報提供や学習スケジュールの相談など個別にフォローします(p. 6)